

学校生活を楽しく過ごすために

1. 入学前の準備と生活について

基本的な生活習慣を身につけることは、学習を支える大切な土台です。まず、自分のことは自分でできる子どもにしつけていくことが大切です。次の点に留意し、徐々に習慣づけておいてください。

(1) 規則正しい生活習慣を身につける

- 早寝早起きにこころがけ、登校時間を守る。
- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 洗顔、はみがき、登校の前の用便をすませる。
- 一定の時間内に食事をする。（給食を食べる時間は、おおむね 25 分程度です）



(2) 自分のことは自分でする

- あいさつができる
- 自分の名前を言える。ひらがなで書かれた自分の名前が読める。
- 名前をよばれたら「はい」と返事ができる。
- 衣服の着脱、トイレの始末ができる。
- 交通ルールを守って、自分の家と学校の間をひとりで往復できる。
- 次の日の学習の準備は自分でする。
- 自分の持ちものの整理せいとんができる。



(3) 服装、くつについて

- 制服はありません。清潔で、着脱しやすい、活動しやすいものにしてください。
- くつは、運動しやすいものにしてください。体育の授業でも使います。
- 下着、くつ下だけでなく、上着も含め衣服にはすべて記名してください。
- 体育の時間や給食の時間が終わったら、給食エプロンや体操服はたたんで袋に入れます。おうちでたたんで袋に入れる練習をしておいてください。

2. 担任との連携

小学校は、学級担任制で、1 学級に一人の担任教諭がいます。学校では担任が保護者に替わって、一日中子どもと共に過ごします。子どもが、楽しく学校生活を送るためには、まず、担任との信頼関係を築くことが大切です。

- 心身の状況や家庭の状況で配慮を要することがあれば、事前に「児童調査票」にご記入ください。新たに問題が生じた場合は、その都度連絡帳で担任までご連絡ください。
- 学校からは、たくさんのプリントが届きます。必ず目を通していただきますようお願いいたします。
- 「今日は学校でどんなことをしたの？」と聞いてあげてください。子どもが家に帰って、学校の様子をたくさん話すことはとてもよいことです。しかしときには子どもの話は、一方的だったり、一部だけだったりして、誤った情報を伝えてしまうかもしれません。それを聞いて保護者の方が、不満や不信を感じたときは、そのままにせず、担任に連絡してください。

・欠席・遅刻・早退するとき

連絡帳に欠席、遅刻、早退の理由を書いて、兄弟姉妹、または近所のお子さんに預けてください。（電話での連絡は、緊急時のみとします）

遅刻、早退のときは、安全上の理由でお子さまだけで登校、下校させることはできません。保護者の方の送り、迎えをお願いします。

3. 学習について

小学校は、義務教育の場です。学習指導要領に沿って本格的な教科の学習が始まります。まず、座ってしっかり「聴くこと」が大切です。子どもたちの興味関心を引き出し、意欲的に学べるように教材を工夫し、学習を進めていきます。一ヶ月ごとに学年便り等で学習予定をお知らせします。また、教科書にも目を通していただきどんなことを学習しているかご確認下さい。

また、「学校で学び、家庭で身につける」というように、習ったことを身につけ、使いこなすには、何度も繰り返し練習し、習熟していかなくてはなりません。そのために学校では毎日宿題を出します。毎日、一定の時間、お子さんが落ち着いて宿題に集中できる時間を作ってあげてください。また、国語の教科書の音読を聞いてあげたり、宿題ができているか確認したり、おうちの方のご協力もお願いします。低学年のうちから家庭学習の習慣を身につけましょう。

4. 学校生活について

学校は、集団生活の場です。それぞれ持ち味を持った子どもたちが、友だちや先生といっしょに過ごしながら、様々な学習をしていきます。そのときに人間関係がうまくいかなかったり、友だちと考え方や意見が異なりトラブルになったりすることもあります。

しかし、お互いのちがいを認め合い、協力したり助け合ったりしてともに学びあってこそ豊かになれます。

◎異学年交流（令和3年度は未実施）



吹田市の教育

本市においては、「吹田市教育ビジョン」を柱に据え、「今 吹田から ^{あす}未来の力を ^{いのち}生命かがやき ともにつながり ^{あす}未来を拓く吹田の教育」を教育理念としています。その具現化に向け、小中一貫教育を通して、学習活動や学校・園運営、地域連携等の改革に取り組み、「地域に根ざした質の高い公教育の創造」に努め、次世代を担う子供たちに、困難に打ち克ってくじけない「学びに向かう力、人間性等」「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の調和の取れた「総合的人間力」をつけることをめざしています。

吹田市教育ビジョン

教育理念

「今 吹田から ^{あす}未来の力を ^{いのち}生命かがやき ともにつながり ^{あす}未来を拓く吹田の教育」

基本目標1

総合的人間力の形成

～夢と志を持ち、可能性に挑戦する力を育む教育～

基本目標2

社会全体の教育力の向上

～地域と協働しともに歩む教育～

基本目標3

豊かな教育環境の創造

～豊かな学びを支援する教育環境～

人権教育の推進について

教育委員会では、平成15年（2003年）2月に「人権教育を推進するための指針」を定め、その中で一人ひとりの自尊感情を育み、多様な個性・価値観を認め合い、他者を思いやる人権感覚豊かな人間性を培う教育の推進を掲げています。そして、自分や人を大切にする生き方を感覚として身につけていくために、学習によって次のような技能（スキル）を高めていくことを目標にしています。

スキルアップ 誰もが身につけたい人権感覚

こんなことできるようになりたいね！

- ・まずは、自分を好きになることから
- ・自分で決断し責任を持つこと
- ・相手の立場に立って考えること
- ・ものごとを公平にみること
- ・自分の思いを相手にきちんと伝えること
- ・ちがいを認め合いいい関係をつくること
- ・解決するまでねばり強く取り組むこと

1. 学校の概要

① 所在地 吹田市佐竹台4丁目12番1号 電話06-6871-0108

② URL <http://www2.suita.ed.jp/school/es/28-satake/>

③ 児童数 令和3年11月現在

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	支援
クラス数	4	4	4	4	4	5	9
児童数	137	143	136	136	124	133	55

④ 職員

- ・校長 ・教頭 ・首席 ・教諭36名 ・生徒指導主事1名 ・養護教諭1名
- ・学校事務2名 ・非常勤事務職員1名 ・校務員1名 ・調理員7名
- ・非常勤職員（支援学級介助員、低学年補助(スターター)、AET、読書活動支援、教育相談員、スクールソーシャルワーカー(SSW)）

2. 日課表

通常日課		短縮時程 (水曜日・委員会・クラブ・研究授業)	
さたけっこタイム	8:30 ~ 8:45	連絡タイム	8:30 ~ 8:35
1限	8:45 ~ 9:30	1限	8:35 ~ 9:20
2限	9:35 ~ 10:20	2限	9:25 ~ 10:10
業間	10:20 ~ 10:40	業間	10:10 ~ 10:30
3限	10:40 ~ 11:25	3限	10:30 ~ 11:15
4限	11:30 ~ 12:15	4限	11:20 ~ 12:05
給食	12:15 ~ 13:05	給食	12:05 ~ 12:55
掃除	13:05 ~ 13:25	5限	13:05 ~ 13:50
昼休み	13:25 ~ 13:40	6限	13:55 ~ 14:40
5限	13:45 ~ 14:30		(委員会・クラブ6限 14:00 ~ 14:45)
6限	14:35 ~ 15:20		

- ・さたけっこタイム 月曜日 朝読書
火曜日 全校集会・児童集会
木曜日 クラスタイム
金曜日 イングリッシュタイム
- ・授業終了後、15分程度の終わりの会があります。
- ・水曜日に、月一回4時間授業の日があります。
- ・下校時刻 2月～10月は16:30 11月～1月は16:00

3. 学校のきまり

- ① 8時から8時20分の間に登校する。
- ② 登下校のときには、決められた通学路を通る。
- ③ 登下校のときは、運動場側の通用門を通る。
- ④ 登校後は、子どもだけで学校外へ出ない。（忘れ物を取りに帰らない）
- ⑤ 学校へは、学習に必要なものは持ってこない。
- ⑥ 上ぐつ、下ぐつ、体育館シューズの区別をつけ、名前を書く。
- ⑦ 終わりの会が終わったらすぐに下校する。

4. 特別活動

クラブ（4. 5. 6年生）手芸 折り紙 将棋・オセロ 羊毛フェルト 音楽
消しゴムはんこ ドッチボール さたけお笑い道場
もの作り ペーパークラフト 漫画・イラスト
屋外スポーツ 競技かるた ボードゲーム ダンス

委員会（5. 6年生） 児童会（学級代表） 保健 環境整備 図書
美化 生き物 放送 体育 給食

5. 課外活動

課外クラブ（4. 5. 6年生） ミニバスケット サッカー バドミントン 陸上

6. 評価（あゆみ）

「あゆみ」は、学期ごとにお子さまの学習状況や生活の様子を評価したものです。

学習指導要領の示す目標に合わせ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」などを基本にしながら、到達目標を基準に評価します。これは、他の子どもたちとの比較をもとに評価するもの（相対評価）ではありません。

「教科」の評価は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「学びに向かう力・人間性等」の3観点で、各教科・単元ごとの到達目標に照らし合わせて、目標に到達できたものを「できた」できなかったものを「がんばろう」とします。1～2年生は「できた」「がんばろう」の2段階、3年生以上は「よくできた」「できた」「がんばろう」の3段階で評価します。評価は、テストだけでなく授業ノート、学習プリントなども含めて行います。また、「特別な教科 道徳」については文章表記で評価します。

「総合的な学習」（3年生以上）の評価も、文章で記入します。活動や学習の過程、ワークシートやノート、発表や討論など様々な場面で見られる児童の学習状況や成果などをふまえ、ねらいである課題を設定する力・課題を解決する力・表現する力などを評価します。

「外国語活動」の評価は、4年生までは文章で記入します。

「行動のようす」については、児童が学校で集団生活をする上で、約束や気をつけてほしいことごとについて2段階で表しています。

「気づいたこと」の欄には、学習や行動のようすについて、文章で記入します。

「あゆみ」は、お子さまの学習状況や生活の様子を保護者の皆様にお伝えすると同時に、次のステップへの課題をはっきりさせ、子どもたちが学習の励みにしていくものという側面もあります。「あゆみ」をもとに家族で話し合い、励みになる言葉かけをお願いします。